



### 青少年ひろばのトイレについて 市政運営の課題と展望について

川村 幸人 議員



#### 青少年ひろばのトイレ

**質問** 青少年ひろばに設置されたトイレの増設など、今後の改修計画を伺います。

**答** 現在、バリアフリー仕様の移動式トイレの増設に向けて検討を進めています。また、固定式トイレの設置について、国の補助金等の財源や設置の適地につ

いて調査研究しています。

**要望** トイレ増設等の一日も早い実現を要望します。

**4年間の実績と今後の行政運営**

**質問** 産業団地等の開発状況について伺います。

**答** 計画段階ではありませんが、大島地区及び館林インターチェンジ周辺の開発、

渡瀬地区の北部工業団地の拡張を進めています。

**質問** 地域医療を守るための取組を伺います。

**答** 公立館林厚生病院の医師数の回復、民間から事務部長を登用した経営改革の効果で3億円の赤字が減少するなど、医療提供サービスが改善しつつあります。

**質問** 医師会との連携によるPCR検査センターについて伺います。

**答** PCR検査センターは、医師会のご協力のもと、

います。

**答** 特定健診未受診者で、レセプトから抽出した該当者数は228人です。まずは、特定健診の受診を勧めています。

**要望** 透析や糖尿病性腎症等への重症化へ移行しやすい治療中断者を受診勧奨することは、健康寿命の延伸、

将来の国保医療費の適正化につながります。医師会との連携も軸に働きかけを広げていただけるよう要望いたします。

本市から県への働きかけにより、県内で初めて設置されました。これにより、検査件数を大幅に増やすことが可能となり、早期検査と

早期隔離、市民の不安解消、検査後の早期復職に大きな成果をあげ、市中での感染拡大の抑制につながったと捉えています。

**質問** 一部事務組合の運営費の負担割合について、その決定過程における情報公開の考え方を伺います。

**答** 負担割合については、

組合議会や第三者委員会への諮問を踏まえて決定しています。また、密室性を解消するため、情報公開を積極的に進めていきます。

**質問** 3月の市長選に向けた市長の考えを伺います。

**答** これまでの間、医療経営、産業基盤、教育、防災、意識の五つの改革に取り組んできましたが、今後も効果的で革新的な政策を打ち出していきます。市長選挙では、再選を目指して出馬に臨みたいと思います。



### 糖尿病性腎症重症化予防と 誹謗中傷から市民を守る啓発活動について

平井 玲子 議員



#### 糖尿病性腎症重症化予防

**質問** 本市の糖尿病患者の状況について伺います。

**答** 国保データベースによりますと、糖尿病の方は2259人、全被保険者の12・3%を占めています。医療費は、令和元年度7億1030万円となり、一人あたり年間31万4千円です。

**質問** 本市の透析患者の状況について伺います。

**答** 被保険者の人工透析患者数は、令和元年度95人、医療費5億1061万円となり、一人あたり年間537万円の高額な医療費が発生しています。

**質問** 糖尿病治療中断者に対する受診勧奨について伺



©KOMETTO

#### 差別や偏見、誹謗中傷から市民を守る啓発活動

**質問** コロナ禍における本市の誹謗中傷の現状認識について伺います。

**答** 本市でも、親が感染の発生した病院に勤務して

いるだけで、子どもを休ませてほしいと言われた事例があります。

**質問** 思いやりの心を持ち、互いに支え合う社会を実現する目的で条例を制定した事例もあります。本市の条例制定の考えを伺います。

**答** 現時点では、個別条例の制定は考えていませんが、今後、状況の変化及び機運の高まりなどに応じて、市民や有識者の意見を広く伺うなど、検討を進めたいと考えます。